

関連資料



平成30年12月21日

高等教育局



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

(1) 地方大学の振興

- 地方創生を担う人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化の観点から、地方大学の振興を図ることが重要であり、基盤経費や奨学金、補助金等のあらゆる枠組みの財政支援を総動員して、地域の発展に貢献する大学等を支援する。

国立大学法人運営費交付金等

- ◆ 「3つの重点支援の枠組み」により、地域のニーズに応える人材育成・研究の推進などの各大学の強み・特色をいかした機能強化構想について重点支援

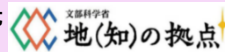
宇都宮大学の取組



- ✓ 地域デザイン科学部を設置。
- ✓ 地域対応力を養う実践的教育プログラムを実施。
- ✓ 具体的には、地域の課題解決に向けて実践的に行動できる能力である地域対応力を養うため、文理の専門領域を超えた学部共通の教育プログラム(ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション)の実施。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

- ◆ 若年層の東京一極集中を解消するため、大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革とともに、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓を実行。



富山大学の取組

- ✓ 「地域課題解決プラットフォーム」を形成。
- ✓ 「未来の地域リーダー」を育成するため、教育カリキュラム改革や、学生の地元定着推進のための取組を実施。



私立大学等改革総合支援事業

- ◆ 地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取組や、大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた大学改革の推進を支援

石巻専修大学の取組

- ✓ 被災地復興に向けたボランティア活動の拠点。
- ✓ 被災の記憶をとどめるためのアーカイブ化などの防災と復興に関する事業。
- ✓ 地域の小中高校と連携した復興教育を展開するなど「復興共生プロジェクト」を実施。



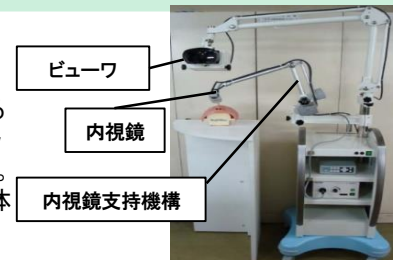
<石巻専修大学の3Dプリンタで作成した震災前の石巻沿岸の模型>

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

- ◆ 特徴ある研究資源を有する地域の大学において、事業化経験を持つ人材を中心とした事業プロデュースチームを創設。専門機関を活用し、市場・特許分析を踏まえた事業計画を策定し、大学シーズ等の事業化を目指す。

浜松地域の取組

- ✓ 立体視でき、高画質かつ人の眼が捉える色を忠実に再現する製品版内視鏡カメラシステムの改良型が2016年度末に完成。
- ✓ 2018年度中のベンチャー起業に向けた体制整備等が進捗中。



国公私を通じた大学の連携・統合等

H30.5.16第7回人生100年時代構想会議
林 前文部科学大臣提出資料より

【現状認識】

- ✓ それぞれの地域において、高等教育機関が産業界や地方公共団体を巻き込んで、それぞれの将来像が議論されていない。
- ✓ 国公立の設置者の枠を越えた大学の連携が進まない。

【検討の方向性】

- 「**地域連携プラットフォーム(仮称)**」において議論すべき事項について、「**ガイドライン**」の策定を検討。
- 「**地域連携プラットフォーム(仮称)**」の在り方の一つとして、国公立の枠を越えた連携を可能とする「**大学等連携推進法人(仮称)**」の制度の創設を検討。(※定員割れや赤字経営の大学の救済とならないよう留意。)

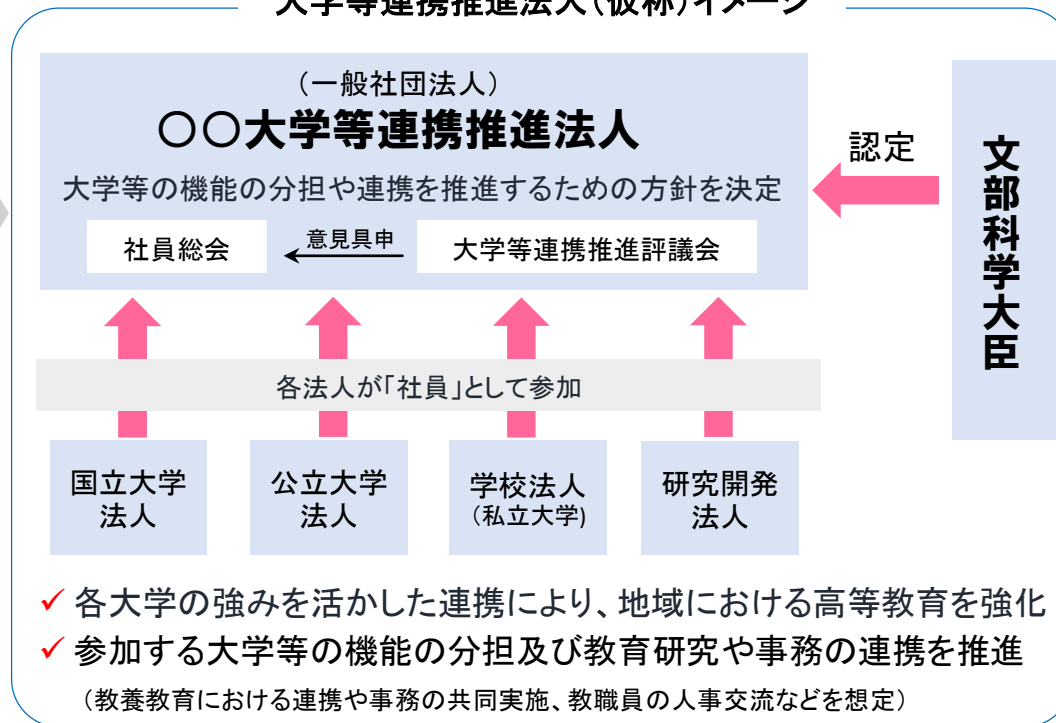


《ガイドラインに盛り込む事項(案)》

- 地域ごとの大学進学率・進学者数等の将来推計
- 地域ごとの特性や産業構造等を踏まえた将来の人材ニーズの見込み
- 将来の人材ニーズに対応した、大学等の規模・分野・配置の在り方(国公立の役割分担、私立大学の公立化の是非の検討等を含む。)
- 国公立の枠組みを超えた連携・統合の可能性
- 卒業生の地元定着を促進するための教育プログラムや産業界とのマッチング
- 18歳学生だけではなく多様な学生の受入れ
- 地域の教育、研究、文化拠点としての役割 等

さらに
発展

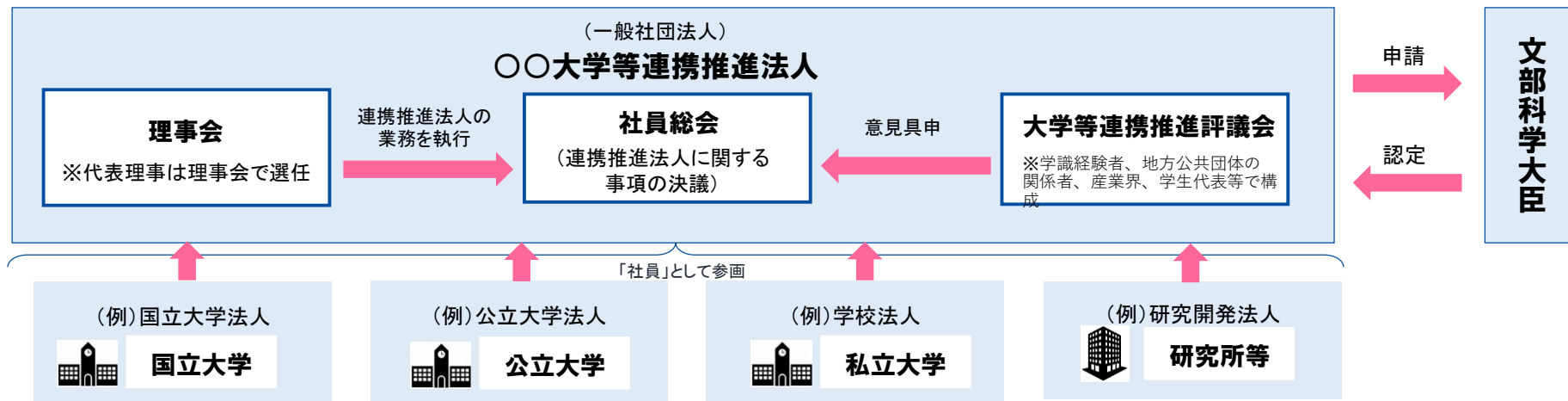
大学等連携推進法人(仮称)イメージ



大学等連携推進法人制度(仮称)について

大学等連携推進法人(仮称)は、大学における国公私の設置形態や大学・研究所等の機関の枠を越えたダイナミックなイノベーションを起こしていくことを可能とする仕組み。

＜イメージ案＞



高度連携型

具体的な連携内容

(イメージ)

- ①設置形態の枠組みを越えた医療イノベーションのための学部設置
- ②大学と研究所による共同研究の推進

- 共同教育課程(修士・博士中心)の複数実施
- 事務の共同実施・教職員の人事交流

地域連携型

(イメージ)

地域の高等教育の質の向上と強化のための拠点の設置

- 教養教育における連携
- 共同教育課程の複数実施
- 入試業務の共同実施
- 事務の共同実施・教職員の人事交流

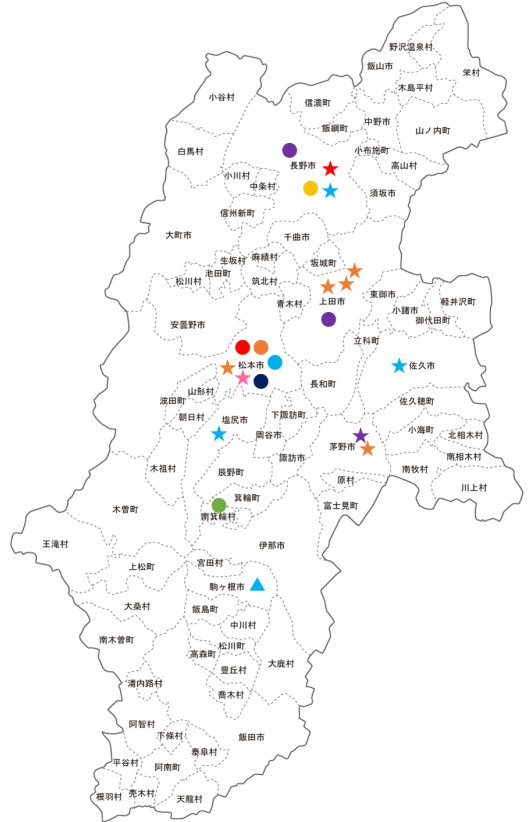
今後のスケジュール(予定)

- 文部科学大臣による認定基準・認定手続等の詳細については平成31年度中に整備。

【参考】「国公私の枠組みを越えて大学等の連携や機能分担を促進する「大学等連携推進法人(仮称)」制度の創設について来年度中に検討する。」
(「未来投資戦略2018」平成30年6月15日閣議決定)

● 地域産業に関する基礎データ

県庁所在地	長野市	企業数	卸売、小売 (8,613) 製造 (6,434) 建設 (6,333)
人口	2,098,804	従業員数	製造 (211,090) 卸売、小売 (184,160) 医療、福祉 (135,888)
有効求人倍率	保安 (9.39) 建設・採掘 (3.02) サービス (2.54)	売上高 (億円)	製造 (59,767) 卸売、小売 (51,644) 医療、福祉 (9,257)
一人当たり雇用者所得 (百万円)	電気・ガス・水道 (18.85) 電気機械 (12.25) 化学 (11.46)	付加価値額 (億円)	サービス (18,937) 不動産 (10,777) 電気機械 (9,834)
労働生産性 (千円/人)	金融、保険 (9,944) 電気・ガス・熱供給・水道 (9,041) 情報通信 (5,214)		



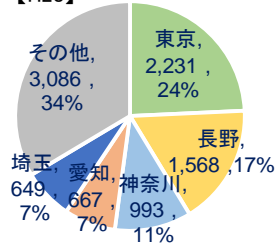
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	21,154
高校等卒業生数【H28】	18,988
大学進学者数【H28】	9,194
大学進学率【H28】	43.5%
大学進学率(国公私別)【H28】	8.6% 2.5% 32.4%
短大進学率【H28】	6.7%
専門学校進学率(現役)【H28】	21.3%
大学数【H28】	9
大学数(国公私別)【H28】	1 1 7
入学定員【H28】	3,368
入学定員(国公私別)【H28】	1,978 80 1,310
大学入学者数【H28】	3,496
県外から流入【H28】	1,928
県内から流出【H28】	7,626
流出入差(流入-流出)【H28】	-5,698
自県進学率【H28】	17.1%
大学進学者数推計【H45】	6,803
大学入学者数推計【H45】	2,725
入学定員充足率推計【H45】	80.9%

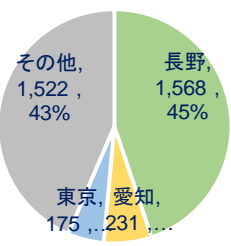
● 大学学部に関する基礎データ

【国】信州大学(定員合計:1,978)			
人文学部	●	155	松本市
教育学部	●	240	長野市
経法学部	●	180	松本市
理学部	●	205	松本市
医学部	●	263	松本市
工学部	●	485	長野市
農学部	●	170	南箕輪村
繊維学部	●	280	上田市
【公】長野県看護大学(定員合計:80)			
看護学部	▲	80	駒ヶ根市
【私】佐久大学(定員合計:90)			
看護学部	★	90	佐久市
【私】諏訪東京理科大学(定員合計:300)			
工学部	★	200	茅野市
経営情報学部	★	100	茅野市
【私】清泉女学院大学(定員合計:100)			
人間学部	★	100	長野市
【私】長野大学(定員合計:300)			
社会福祉学部	★	150	上田市
環境ツーリズム学部	★	75	上田市
企業情報学部	★	75	上田市
【私】長野保健医療大学(定員合計:80)			
保健科学部	★	80	長野市
【私】松本大学(定員合計:320)			
総合経営学部	★	160	松本市
人間健康学部	★	160	松本市
【私】松本歯科大学(定員合計:120)			
歯学部	★	120	塩尻市

● 県内高卒者の大学進学先【H28】

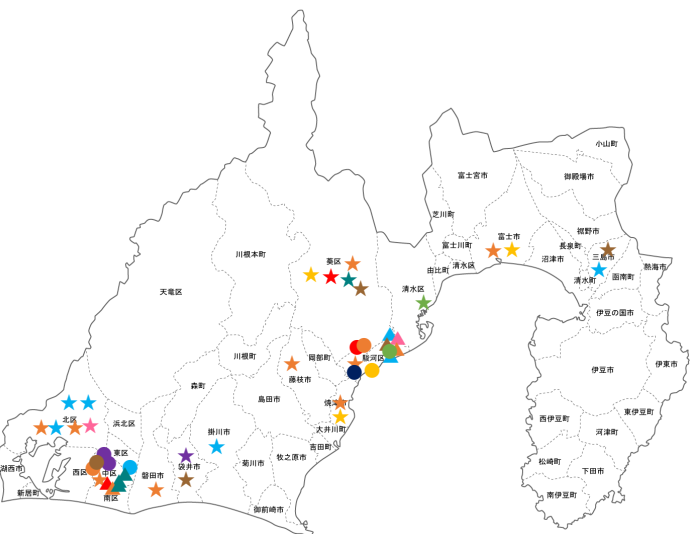


● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 地域産業に関する基礎データ

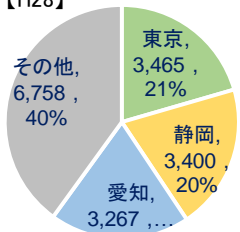
県庁所在地	静岡市	企業数	卸売、小売(13,389) 製造(11,253) 建設(9,996)
人口	3,700,305	従業者数	製造(453,304) 卸売、小売(326,966) 医療、福祉(202,868)
有効求人倍率	保安(6.16) 建設・採掘(3.80) サービス(2.65)	売上高(億円)	製造(152,415) 卸売、小売(96,818) 医療、福祉(14,014)
一人当たり雇用者所得(百万円)	電気・ガス・水道(14.16) 公務(12.23) 電気機械(9.60)	付加価値額(億円)	サービス(27,608) 不動産(18,551) 運輸・通信(13,118)
労働生産性(千円/人)	金融、保険(11,694) 複合サービス(7,738) 電気・ガス・熱供給・水道(5,266)		



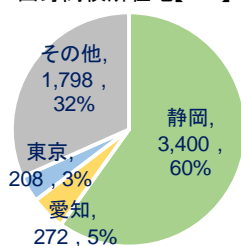
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	35,404		
高校等卒業生数【H28】	32,058		
大学進学者数【H28】	16,890		
大学進学率【H28】	47.7%		
大学進学率(国公私別)【H28】	7.9%	3.3%	36.5%
短大進学率【H28】	3.1%		
専門学校進学率(現役)【H28】	16.8%		
大学数【H28】	14		
大学数(国公私別)【H28】	2	2	10
入学定員【H28】	7,955		
入学定員(国公私別)【H28】	2,145	890	4,920
大学入学者数【H28】	5,678		
県外から流入【H28】	2,278		
県内から流出【H28】	13,490		
流出入差(流入-流出)【H28】	-11,212		
自県進学率【H28】	20.1%		
大学進学者数推計【H45】	13,950		
大学入学者数推計【H45】	6,600		
入学定員充足率推計【H45】	83.0%		

● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 大学学部に関する基礎データ①

【国】静岡大学(定員合計:1,970)			
人文社会科学部	●●●	450	静岡市
教育学部	●●●	300	静岡市
情報学部	●●●	245	浜松市
理学部	●●●	240	静岡市
工学部	●●●	550	浜松市
農学部	●●●	185	静岡市
【国】浜松医科大学(定員合計:175)			
医学部	●●●	175	浜松市
【公】静岡県立大学(定員合計:590)			
薬学部	▲	120	静岡市
食品栄養科学部	▲	70	静岡市
国際関係学部	▲	180	静岡市
経営情報学部	▲	100	静岡市
看護学部	▲	120	静岡市
【公】静岡文化芸術大学(定員合計:300)			
文化政策学部	▲▲▲	200	浜松市
デザイン学部	▲	100	浜松市
【私】静岡英和学院大学(定員合計:250)			
人間社会学部	★	250	静岡市
【私】静岡産業大学(定員合計:500)			
経営学部	★	300	磐田市
情報学部	★	200	藤枝市
【私】静岡福祉大学(定員合計:230)			
社会福祉学部	★	180	焼津市
子ども学部	★	50	焼津市
【私】静岡理工科大学(定員合計:360)			
理工学部	★	220	袋井市
総合情報学部	★	140	袋井市
【私】聖隷クリストファー大学(定員合計:350)			
看護学部	★	150	浜松市
社会福祉学部	★	105	浜松市
リハビリテーション学部	★	95	浜松市

● 大学学部に関する基礎データ②

【私】常葉大学(定員合計:1,680)			
教育学部	★	270	静岡市
外国語学部	★	170	静岡市
造形学部	★	80	静岡市
法学部	★	160	静岡市
健康科学部	★	140	静岡市
経営学部	★	300	浜松市
健康プロデュース学部	★	300	浜松市
保健医療学部	★	80	浜松市
社会環境学部	★	100	富士市
保育学部	★	80	富士市

【私】浜松学院大学(定員合計:160)			
現代コミュニケーション学部	★	160	浜松市

【私】日本大学(定員合計:14,760)			
国際関係学部	★	650	三島市

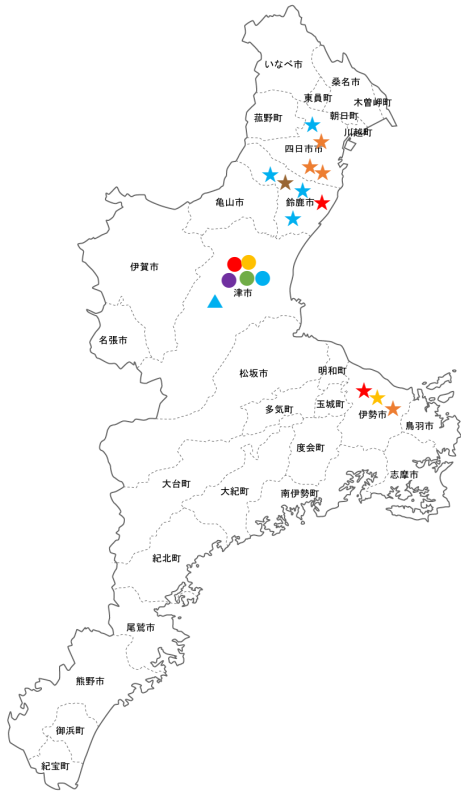
【私】順天堂大学(定員合計:900)			
保健看護学部	★	120	三島市

【私】東海大学(定員合計:6,758)			
海洋学部	★	530	静岡市

【私】東京女子医科大学(定員合計:200)			
看護学部	★	90	掛川市

● 地域産業に関する基礎データ

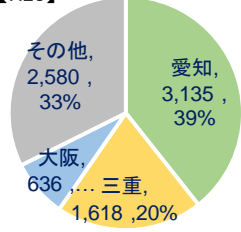
県庁所在地	津市	企業数	卸売、小売(5,596) 建設(3,988) 製造(3,945)
人口	1,815,865	従業者数	製造(211,146) 卸売、小売(150,068) 医療、福祉(109,495)
有効求人倍率	保安(5.31) 建設・採掘(3.71) サービス(3.08)	売上高(億円)	製造(96,090) 卸売、小売(34,634) 医療、福祉(7,289)
一人当たり雇用者所得(百万円)	電気・ガス・水道(16.86) 電気機械(13.11) 公務(12.37)	付加価値額(億円)	サービス(12,178) 不動産(7,861) 電気機械(7,434)
労働生産性(千円/人)	電気・ガス・熱供給・水道(8,100) 金融、保険(7,644) 情報通信(4,795)		



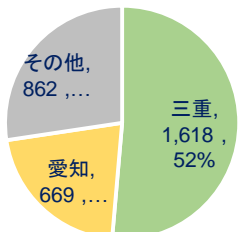
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	18,120
高校等卒業生数【H28】	15,952
大学進学者数【H28】	7,969
大学進学率【H28】	44.0%
大学進学率(国公私別)【H28】	8.3% 2.4% 33.3%
短大進学率【H28】	4.1%
専門学校進学率(現役)【H28】	14.9%
大学数【H28】	7
大学数(国公私別)【H28】	1 1 5
入学定員【H28】	3,030
入学定員(国公私別)【H28】	1,310 100 1,620
大学入学者数【H28】	3,149
県外から流入【H28】	1,531
県内から流出【H28】	6,351
流出入差(流入-流出)【H28】	-4,820
自県進学率【H28】	20.3%
大学進学者数推計【H45】	6,358
大学入学者数推計【H45】	2,627
入学定員充足率推計【H45】	86.7%

● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】

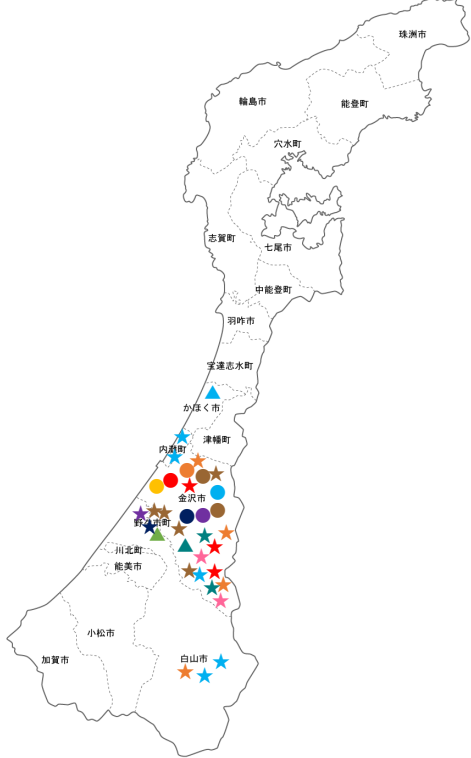


● 大学学部に関する基礎データ

【国】三重大学(定員合計:1,310)			
人文学部		265	津市
教育学部		200	津市
医学部		205	津市
工学部		400	津市
生物資源学部		240	津市
【公】三重県立看護大学(定員合計:100)			
看護学部		100	津市
【私】皇學館大学(定員合計:620)			
文学部		310	伊勢市
教育学部		210	伊勢市
現代日本社会学部		100	伊勢市
【私】鈴鹿医療科学大学(定員合計:560)			
保健衛生学部		310	鈴鹿市
医用工学部		70	鈴鹿市
薬学部		100	鈴鹿市
看護学部		80	鈴鹿市
【私】鈴鹿大学(定員合計:100)			
国際人間科学部		100	鈴鹿市
【私】四日市大学(定員合計:240)			
経済学部		80	四日市市
環境情報学部		80	四日市市
総合政策学部		80	四日市市
【私】四日市看護医療大学(定員合計:100)			
看護学部		100	四日市市

● 地域産業に関する基礎データ

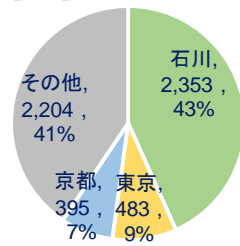
県庁所在地	金沢市	企業数	卸売、小売(4,403) 製造(3,544) 建設(3,182)
人口	1,154,008	従業員数	卸売、小売(110,547) 製造(110,452) 医療、福祉(74,952)
有効求人倍率	保安(5.81) サービス(3.83) 建設・採掘(3.71)	売上高(億円)	卸売、小売(35,767) 製造(25,296) 医療、福祉(5,010)
一人当たり雇用者所得(百万円)	電気・ガス・水道(23.42) 化学(13.26) 鉱業(12.27)	付加価値額(億円)	サービス(10,535) 不動産(6,465) 卸売、小売(5,768)
労働生産性(千円/人)	電気・ガス・熱供給・水道(12,159) 金融、保険(8,200) 鉱業、採石、砂利採取(6,126)		



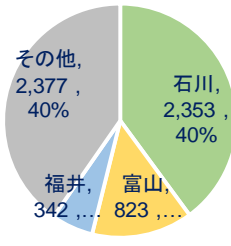
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	11,055		
高校等卒業生数【H28】	10,203		
大学進学者数【H28】	5,435		
大学進学率【H28】	49.2%		
大学進学率(国公私別)【H28】	13.8%	3.1%	32.2%
短大進学率【H28】	7.6%		
専門学校進学率(現役)【H28】	13.8%		
大学数【H28】	12		
大学数(国公私別)【H28】	2	3	7
入学定員【H28】	5,827		
入学定員(国公私別)【H28】	1,726	350	3,751
大学入学者数【H28】	5,895		
県外から流入【H28】	3,542		
県内から流出【H28】	3,082		
流出入差(流入-流出)【H28】	460		
自県進学率【H28】	43.3%		
大学進学者数推計【H45】	4,379		
大学入学者数推計【H45】	4,640		
入学定員充足率推計【H45】	79.6%		

● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】

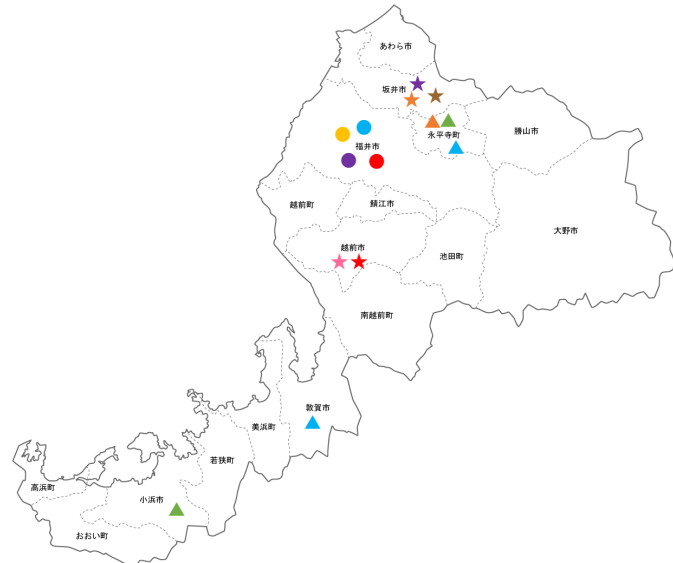


● 大学学部に関する基礎データ

【国】金沢大学(定員合計:1,726)			
人間社会学域		750	金沢市
理工学域		589	金沢市
医薬保健学域		387	金沢市
【公】石川県立大学(定員合計:120)			
生物資源環境学部		120	野々市市
【公】石川県立看護大学(定員合計:80)			
看護学部		80	かほく市
【公】金沢美術工芸大学(定員合計:150)			
美術工芸学部		150	金沢市
【私】金沢医科大学(定員合計:180)			
医学部		110	内灘町
看護学部		70	内灘町
【私】金沢学院大学(定員合計:540)			
文学部		130	金沢市
経営情報学部		160	金沢市
芸術学部		70	金沢市
人間健康学部		180	金沢市
【私】金沢工業大学(定員合計:1,480)			
工学部		800	野々市市
情報フロンティア学部		240	野々市市
環境・建築学部		280	野々市市
バイオ・化学部		160	野々市市
【私】金沢星稜大学(定員合計:575)			
経済学部		380	金沢市
人間科学部		120	金沢市
人文学部		75	金沢市
【私】金城大学(定員合計:330)			
社会福祉学部		150	白山市
医療健康学部		100	白山市
看護学部		80	白山市
【私】北陸大学(定員合計:506)			
薬学部		306	金沢市
未来創造学部		200	金沢市
【私】北陸学院大学(定員合計:定員合計:140)			
人間総合学部		140	金沢市

● 地域産業に関する基礎データ

県庁所在地	福井市	企業数	卸売、小売(3,453) 製造(2,725) 建設(2,507)
人口	786,740	従業員数	製造(81,476) 卸売、小売(76,360) 医療、福祉(52,358)
有効求人倍率	保安(4.26) 建設・探掘(4.21) 販売(3.73)	売上高(億円)	製造(19,718) 卸売、小売(18,898) 医療、福祉(3,704)
一人当たり雇用者所得(百万円)	電気・ガス・水道(32.41) 化学(11.83) 公務(9.05)	付加価値額(億円)	サービス(7,472) 電気・ガス・水道(3,991) 不動産(3,964)
労働生産性(千円/人)	金融、保険(7,396) 情報通信(5,725) 電気・ガス・熱供給・水道(4,577)		



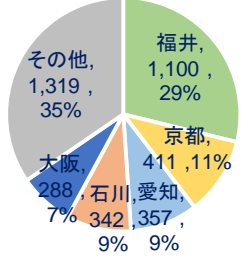
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	7,983		
高校等卒業生数【H28】	7,348		
大学進学者数【H28】	3,817		
大学進学率【H28】	47.8%		
大学進学率(国公私別)【H28】	12.8%	5.4%	29.6%
短大進学率【H28】	5.8%		
専門学校進学率(現役)【H28】	13.8%		
大学数【H28】	5		
大学数(国公私別)【H28】	1	2	2
入学定員【H28】	2,095		
入学定員(国公私別)【H28】	855	425	815
大学入学者数【H28】	2,285		
県外から流入【H28】	1,185		
県内から流出【H28】	2,717		
流出入差(流入-流出)【H28】	-1,532		
自県進学率【H28】	28.8%		
大学進学者数推計【H45】	2,913		
大学入学者数推計【H45】	1,728		
入学定員充足率推計【H45】	82.5%		

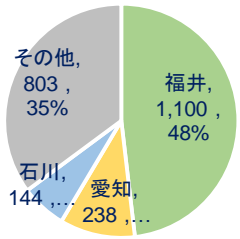
● 大学学部に関する基礎データ

【国】福井大学(定員合計:855)			
教育学部	●	100	福井市
医学部	●	170	永平寺町
工学部	●	525	福井市
国際地域学部	●	60	福井市
【公】敦賀市立看護大学(定員合計:50)			
看護学部	▲	50	敦賀市
【公】福井県立大学(定員合計:375)			
経済学部	▲	200	永平寺町
生物資源学部	▲	45	永平寺町
海洋生物資源学部	▲	50	小浜市
看護福祉学部	▲	80	永平寺町
【私】仁愛大学(定員合計:315)			
人間学部	★	170	越前市
人間生活学部	★	145	越前市
【私】福井工業大学(定員合計:500)			
工学部	★	250	福井市
環境情報学部	★	180	福井市
スポーツ健康科学部	★	70	福井市

● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 地域産業に関する基礎データ

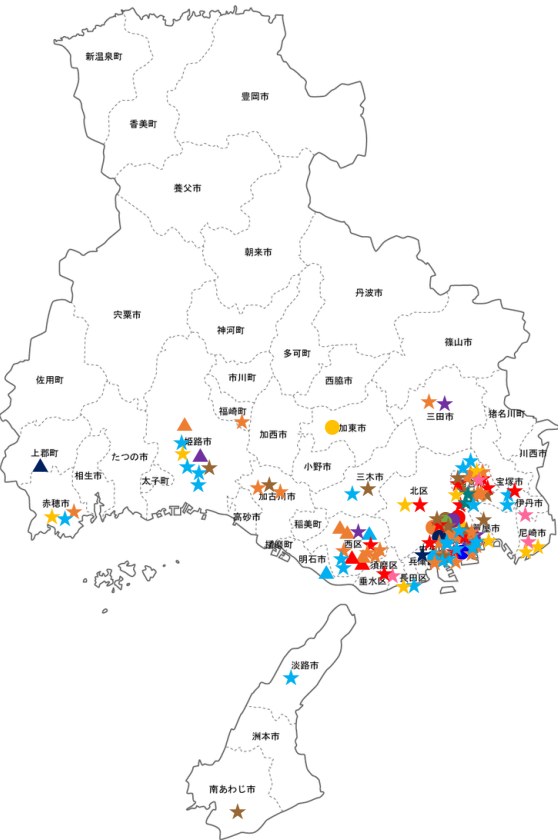
県庁所在地	神戸市	企業数	卸売、小売(16,567) 建設(9,858) 製造(9,462)
人口	5,534,800	従業者数	卸売、小売(457,485) 製造(414,088) 医療、福祉(348,601)
有効求人倍率	保安(4.42) 建設・採掘(3.33) サービス(2.11)	売上高(億円)	製造(151,146) 卸売、小売(133,964) 医療、福祉(20,501)
一人当たり雇用者所得(百万円)	電気・ガス・水道(24.04) 鉱業(10.24) 窯業・土石製品(8.49)	付加価値額(億円)	サービス(44,861) 不動産(30,339) 卸売、小売(19,813)
労働生産性(千円/人)	電気・ガス・熱供給・水道(76,632) 金融、保険(7,667)		

● 高等教育に関する基礎データ

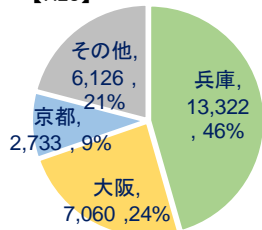
18歳人口【H28】	54,119		
高校等卒業者数【H28】	46,442		
大学進学者数【H28】	29,241		
大学進学率【H28】	54.0%		
大学進学率(国公私別)【H28】	8.6%	3.8%	41.7%
短大進学率【H28】	5.9%		
専門学校進学率(現役)【H28】	13.8%		
大学数【H28】	37		
大学数(国公私別)【H28】	2	3	32
入学定員【H28】	26,832		
入学定員(国公私別)【H28】	2,707	1,782	22,343
大学入学者数【H28】	27,350		
県外から流入【H28】	14,028		
県内から流出【H28】	15,919		
流出入差(流入-流出)【H28】	-1,891		
自県進学率【H28】	45.6%		
大学進学者数推計【H45】	23,505		
大学入学者数推計【H45】	21,736		
入学定員充足率推計【H45】	81.0%		

● 大学学部に関する基礎データ①

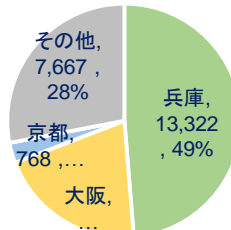
【国】兵庫教育大学(定員合計:160)			
学校教育学部	●	160	加東市
【国】神戸大学(定員合計:2,547)			
文学部	●	115	神戸市
国際文化学部	●	140	神戸市
発達科学部	●	280	神戸市
法学部	●	180	神戸市
経済学部	●	270	神戸市
経営学部	●	260	神戸市
理学部	●	140	神戸市
医学部	●	272	神戸市
工学部	●	540	神戸市
農学部	●	150	神戸市
海学科学部	●	200	神戸市
【公】神戸市外国語大学(定員合計:430)			
外国語学部	▲▲	350	神戸市
外国語学部第二部	▲	80	神戸市
【公】神戸市看護大学(定員合計:95)			
看護学部	▲	95	神戸市
【公】兵庫県立大学(定員合計:1,257)			
経済学部	▲	200	神戸市
経営学部	▲	230	神戸市
工学部	▲	352	姫路市
理学部	▲	175	上郡町
環境人間学部	▲	200	姫路市
看護学部	▲	100	明石市
【私】芦屋大学(定員合計:250)			
臨床教育学部	★	150	芦屋市
経営教育学部	★	100	芦屋市
【私】大手前大学(定員合計:670)			
総合文化学部	★	190	西宮市
メディア・芸術学部	★	180	西宮市
現代社会学部	★	220	西宮市
健康栄養学部	★	80	伊丹市
【私】関西看護医療大学(定員合計:90)			
看護学部	★	90	淡路市
【私】関西国際大学(定員合計:505)			
人間科学部	★	225	三木市
教育学部	★	200	尼崎市
保健医療学部	★	80	三木市



● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 大学学部に関する基礎データ②

【私】関西福祉大学(定員合計:260)			
社会福祉学部	★	100	赤穂市
看護学部	★	80	赤穂市
発達教育学部	★	80	赤穂市

【私】関西学院大学(定員合計:5,700)			
神学部	★	30	西宮市
文学部	★	770	西宮市
社会学部	★	650	西宮市
法学部	★	680	西宮市
経済学部	★	680	西宮市
商学部	★	650	西宮市
理工学部	★	700	三田市
総合政策学部	★	590	三田市
人間福祉学部	★	300	西宮市
教育学部	★	350	西宮市
国際学部	★	300	西宮市

【私】甲子園大学(定員合計:260)			
栄養学部	★	200	宝塚市
心理学部	★	60	宝塚市

【私】甲南大学(定員合計:1,935)			
文学部	★	400	神戸市
理工学部	★	155	神戸市
経済学部	★	350	神戸市
法学部	★	350	神戸市
経営学部	★	345	神戸市
知能情報学部	★	120	神戸市
マネジメント創造学部	★	180	西宮市
フロンティアサイエンス学部	★	35	神戸市

【私】甲南女子大学(定員合計:900)			
文学部	★	340	神戸市
人間科学部	★	400	神戸市
看護リハビリテーション学部	★	160	神戸市

【私】神戸医療福祉大学(定員合計:400)			
社会福祉学部	★	400	福崎町

【私】神戸海星女子学院大学(定員合計:95)			
現代人間学部	★	95	神戸市

【私】神戸学院大学(定員合計:2,440)			
法学部	★	425	神戸市
経済学部	★	320	神戸市
経営学部	★	315	神戸市
人文学部	★	450	神戸市
現代社会学部	★	200	神戸市
グローバル・コミュニケーション学部	★	150	神戸市
総合リハビリテーション学部	★	170	神戸市
栄養学部	★	160	神戸市
薬学部	★	250	神戸市

【私】神戸芸術工科大学(定員合計:400)			
芸術工学部	★	400	神戸市

【私】神戸国際大学(定員合計:380)			
経済学部	★	300	神戸市
リハビリテーション学部	★	80	神戸市

【私】神戸松蔭女子学院大学(定員合計:590)			
文学部	★	260	神戸市
人間科学部	★	330	神戸市

【私】神戸女学院大学(定員合計:566)			
文学部	★	350	西宮市
音楽学部	★	46	西宮市
人間科学部	★	170	西宮市

【私】神戸女子大学(定員合計:825)			
家政学部	★	220	神戸市
文学部	★	385	神戸市
健康福祉学部	★	140	神戸市
看護学部	★	80	神戸市

【私】神戸親和女子大学(定員合計:415)			
文学部	★	60	神戸市
発達教育学部	★	355	神戸市

【私】神戸常盤大学(定員合計:235)			
保健科学部	★	155	神戸市
教育学部	★	80	神戸市

【私】神戸薬科大学(定員合計:270)			
薬学部	★	270	神戸市

【私】神戸山手大学(定員合計:220)			
現代社会学部	★	220	神戸市

【私】園田学園女子大学(定員合計:350)			
人間健康学部	★	255	尼崎市
人間教育学部	★	95	尼崎市

【私】宝塚医療大学(定員合計:160)			
保健医療学部	★	160	宝塚市

【私】姫路大学(定員合計:180)			
看護学部	★	100	姫路市
教育学部	★	80	姫路市

【私】姫路獨協大学(定員合計:650)			
人間社会学群	★	280	姫路市
看護学部	★	80	姫路市
医療保健学部	★	190	姫路市
薬学部	★	100	姫路市

【私】兵庫大学(定員合計:410)			
現代ビジネス学部	★	120	加古川市
健康科学部	★	210	加古川市
生涯福祉学部	★	80	加古川市

【私】兵庫医科大学(定員合計:112)			
医学部	★	112	西宮市

【私】兵庫医療大学(定員合計:330)			
薬学部	★	150	神戸市
看護学部	★	100	神戸市
リハビリテーション学部	★	80	神戸市

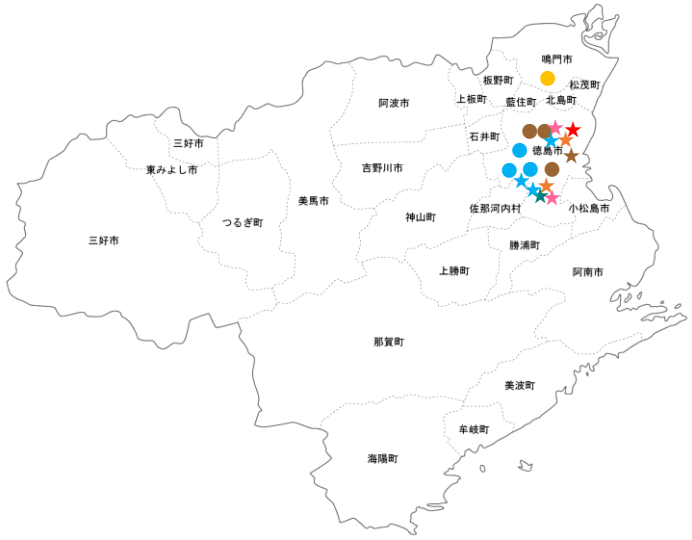
【私】武庫川女子大学(定員合計:1,785)			
文学部	★	735	西宮市
健康・スポーツ科学部	★	150	西宮市
生活環境学部	★	520	西宮市
音楽学部	★	50	西宮市
薬学部	★	250	西宮市
看護学部	★	80	西宮市

【私】流通科学大学(定員合計:900)			
商学部	★	450	神戸市
経済学部	★	200	神戸市
人間社会学部	★	250	神戸市

【私】吉備国際大学(定員合計:610)			
地域創成農学部	★	60	南あわじ市

● 地域産業に関する基礎データ

県庁所在地	徳島市		
人口	755,733	企業数	卸売、小売(3,093) 建設(2,129) 製造(1,477)
有効求人倍率	保安(5.21) サービス(2.59) 建設・採掘(2.40)	従業者数	卸売、小売(62,921) 医療、福祉(61,091) 製造(57,384)
一人当たり 雇用者所得 (百万円)	電気・ガス・水道 (27.21) 化学(19.16) 公務(12.85)	売上高 (億円)	製造(16,633) 卸売、小売(13,617) 医療、福祉(4,312)
労働生産性 (千円/人)	情報通信(7,538) 電気・ガス・熱供給・水道(7,383) 金融、保険(7,005)	付加価値額 (億円)	サービス(5,584) 化学(3,568) 公務(3,488)



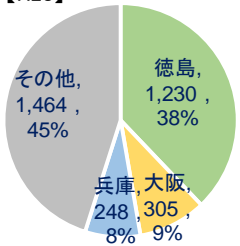
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	7,021		
高校等卒業生数【H28】	6,331		
大学進学者数【H28】	3,247		
大学進学率【H28】	46.2%		
大学進学率(国公私別)【H28】	15.7%	3.2%	27.4%
短大進学率【H28】	5.0%		
専門学校進学率(現役)【H28】	17.4%		
大学数【H28】	4		
大学数(国公私別)【H28】	2	0	2
入学定員【H28】	2,943		
入学定員(国公私別)【H28】	1,388	0	1,555
大学入学者数【H28】	2,943		
県外から流入【H28】	1,713		
県内から流出【H28】	2,017		
流出入差(流入-流出)【H28】	-304		
自県進学率【H28】	37.9%		
大学進学者数推計【H45】	2,388		
大学入学者数推計【H45】	2,103		
入学定員充足率推計【H45】	71.5%		

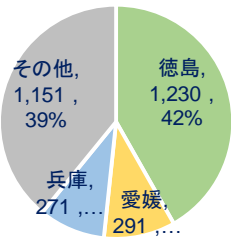
● 大学学部に関する基礎データ

【国】徳島大学(定員合計:1,288)			
総合科学部	●	170	徳島市
医学部	●	288	徳島市
歯学部	●	55	徳島市
薬学部	●	80	徳島市
理工学部	●	595	徳島市
生物資源産業学部	●	100	徳島市
【国】鳴門教育大学(定員合計:100)			
学校教育学部	●	100	鳴門市
【私】四国大学(定員合計:580)			
文学部	★	125	徳島市
経営情報学部	★	175	徳島市
生活科学部	★	200	徳島市
看護学部	★	80	徳島市
【私】徳島文理大学(定員合計:1,305)			
人間生活学部	★	400	徳島市
音楽学部	★	30	徳島市
薬学部	★	180	徳島市
総合政策学部	★	80	徳島市
保健福祉学部	★	285	徳島市

● 県内高卒者の大学進学先【H28】

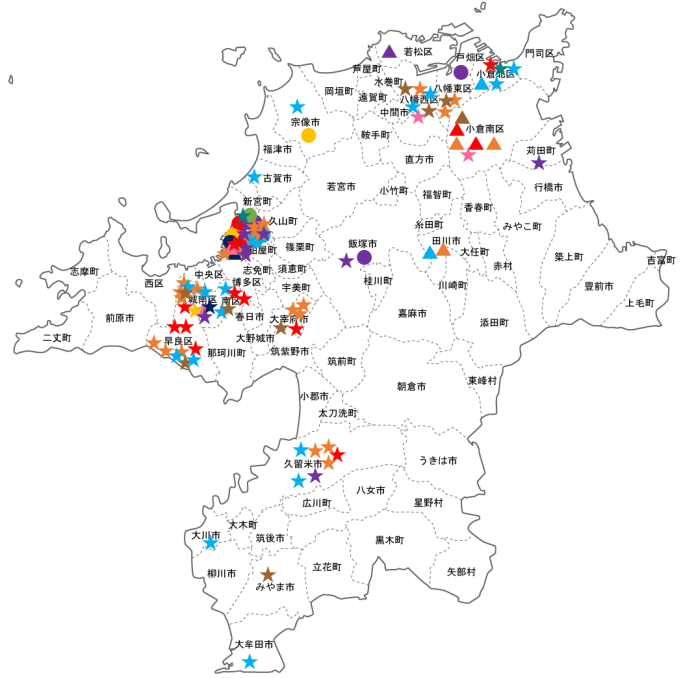


● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 地域産業に関する基礎データ

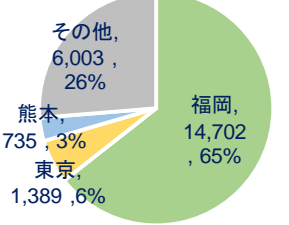
県庁所在地	福岡市	企業数	卸売、小売(16,428) 建設(11,461) 製造(6,472)
人口	5,101,556	従業者数	卸売、小売(502,730) 医療、福祉(357,103) 製造(252,601)
有効求人倍率	保安(3.60) 建設・採掘(2.49) サービス(2.36)	売上高(億円)	卸売、小売(189,271) 製造(85,424) 医療、福祉(22,680)
一人当たり雇用者所得(百万円)	輸送用機械(15.97) 電気・ガス・水道(13.05) 鉱業(11.24)	付加価値額(億円)	サービス(44,365) 卸売、小売(26,233) 不動産(23,610)
労働生産性(千円/人)	金融、保険(7,584) 複合サービス(6,659) 情報通信(4,886)		



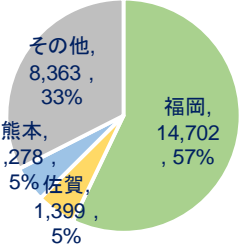
● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【H28】	48,126		
高校等卒業生数【H28】	42,094		
大学進学者数【H28】	22,829		
大学進学率【H28】	47.4%		
大学進学率(国公私別)【H28】	10.0%	3.1%	34.3%
短大進学率【H28】	7.8%		
専門学校進学率(現役)【H28】	14.6%		
大学数【H28】	34		
大学数(国公私別)【H28】	3	4	27
入学定員【H28】	24,385		
入学定員(国公私別)【H28】	4,111	1,940	18,334
大学入学者数【H28】	25,742		
県外から流入【H28】	11,040		
県内から流出【H28】	8,127		
流出入差(流入-流出)【H28】	2,913		
自県進学率【H28】	64.4%		
大学進学者数推計【H45】	21,652		
大学入学者数推計【H45】	23,044		
入学定員充足率推計【H45】	94.5%		

● 県内高卒者の大学進学先【H28】



● 県内大学入学者の出身高校所在地【H28】



● 大学学部に関する基礎データ①

【国】福岡教育大学(定員合計:615)			
教育学部	●	615	宗像市
【国】九州大学(定員合計:2,555)			
文学部	●	160	福岡市
教育学部	●	50	福岡市
法学部	●	200	福岡市
経済学部	●	240	福岡市
理学部	●	277	福岡市
医学部	●	260	福岡市
歯学部	●	53	福岡市
薬学部	●	80	福岡市
工学部	●	804	福岡市
芸術工学部	●	202	福岡市
農学部	●	229	福岡市
【国】九州工業大学(定員合計:941)			
工学部	●	531	北九州市
情報工学部	●	410	飯塚市
【公】北九州市立大学(定員合計:1,340)			
外国語学部	▲	241	北九州市
経済学部	▲	284	北九州市
文学部	▲	222	北九州市
法学部	▲	253	北九州市
国際環境工学部	▲	250	北九州市
地域創生学群	▲	90	北九州市
【公】九州歯科大学(定員合計:120)			
歯学部	▲	120	北九州市
【公】福岡県立大学(定員合計:240)			
人間社会学部	▲	150	田川市
看護学部	▲	90	田川市
【公】福岡女子大学(定員合計:240)			
国際文理学部	▲▲▲	240	福岡市
【私】九州栄養福祉大学(定員合計:220)			
食物栄養学部	★	100	北九州市
リハビリテーション学部	★	120	北九州市
【私】九州共立大学(定員合計:650)			
経済学部	★	400	北九州市
スポーツ学部	★	250	北九州市
【私】九州国際大学(定員合計:600)			
法学部	★	180	北九州市
経済学部	★	280	北九州市
国際関係学部	★	140	北九州市

● 大学学部に関する基礎データ②

【私】九州産業大学(定員合計:2,675)			
経済学部	★	450	福岡市
商学部第一部	★	550	福岡市
商学部第二部	★	50	福岡市
経営学部	★	400	福岡市
工学部	★	525	福岡市
芸術学部	★	300	福岡市
国際文化学部	★	200	福岡市
情報科学部	★	160	福岡市

【私】九州情報大学(定員合計:180)			
経営情報学部	★	180	太宰府市

【私】九州女子大学(定員合計:320)			
家政学部	★	130	北九州市
人間科学部	★	190	北九州市

【私】久留米大学(定員合計:1,406)			
文学部	★	359	久留米市
法学部	★	308	久留米市
経済学部	★	259	久留米市
商学部	★	265	久留米市
医学部	★	215	久留米市

【私】久留米工業大学(定員合計:290)			
工学部	★	290	久留米市

【私】産業医科大学(定員合計:195)			
医学部	★	105	北九州市
産業保健学部	★	90	北九州市

【私】純真学園大学(定員合計:240)			
保健医療学部	★	240	福岡市

【私】西南学院大学(定員合計:1,670)			
神学部	★	10	福岡市
文学部	★	250	福岡市
商学部	★	300	福岡市
経済学部	★	300	福岡市
法学部	★	350	福岡市
人間科学部	★	310	福岡市
国際文化学部	★	150	福岡市

【私】西南学院大学(定員合計:390)			
保健福祉学部	★	270	北九州市
人文学部	★	120	北九州市

【私】聖マリア学院大学(定員合計:100)			
看護学部	★	100	久留米市

【私】第一薬科大学(定員合計:173)			
薬学部	★	173	福岡市

【私】筑紫女学園大学(定員合計:720)			
文学部	★	250	太宰府市
人間科学部	★	280	太宰府市
現代社会学部	★	190	太宰府市

【私】中村学園大学(定員合計:640)			
栄養科学部	★	200	福岡市
教育学部	★	220	福岡市
流通科学部	★	220	福岡市

【私】西日本工業大学(定員合計:370)			
工学部	★	240	苅田町
デザイン学部	★	130	北九州市

【私】日本経済大学(定員合計:1,410)			
経済学部	★	510	太宰府市

【私】日本赤十字九州国際看護大学(定員合計:100)			
看護学部	★	100	宗像市

【私】福岡大学(定員合計:4,110)			
人文学部	★	540	福岡市
法学部	★	600	福岡市
経済学部	★	600	福岡市
商学部	★	605	福岡市
商学部第二部	★	165	福岡市
理学部	★	240	福岡市
工学部	★	640	福岡市
医学部	★	210	福岡市
薬学部	★	230	福岡市
スポーツ科学部	★	280	福岡市

【私】福岡工業大学(定員合計:915)			
工学部	★	380	福岡市
情報工学部	★	375	福岡市
社会環境学部	★	160	福岡市

【私】福岡歯科大学(定員合計:120)			
口腔歯学部	★	120	福岡市

【私】福岡女学院大学(定員合計:560)			
人文学部	★	200	福岡市
人間関係学部	★	240	福岡市
国際キャリア学部	★	120	福岡市

【私】福岡女学院看護大学(定員合計:100)			
看護学部	★	100	古賀市

【私】保健医療経営大学(定員合計:80)			
保健医療経営学部	★	80	みやま市

【私】国際医療福祉大学(定員合計:1,660)			
福岡保健医療学部	★	240	大川市
福岡看護学部	★	100	福岡市

【私】近畿大学(定員合計:7,050)			
産業理工学部	★	360	飯塚市

【私】帝京大学(定員合計:5,371)			
福岡医療技術学部	★	340	大牟田市

(2)国立大学改革

国立大学法人化以後の流れ

持続的な“競争力”を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へ

第3期中期目標期間

(平成28年度～)

機能強化の推進

- ・地域貢献、専門分野、卓越性等3つの重点支援枠
- ・学長裁量経費の導入

基盤的経費の確保・資産の有効活用等

- ・平成29年度予算運営費交付金等対前年度25億円増
- ・平成30年度予算運営費交付金等対前年度同額
- ・学生への修学支援事業に対する国立大学への個人寄附への税額控除導入 (平成28年度税制改正)
- ・土地等の第三者貸付対象の範囲拡大 (国立大学法人法改正)
- ・寄付金等の運用対象の拡大 (国立大学法人法改正)
- ・評価性資産の寄附に係る非課税要件緩和 (平成30年度税制改正)

「社会変革のエンジン」として
知の創出機能を最大化

国立大学経営力戦略

未来の産業・社会を支えるフロンティア形成

- ✓ 指定国立大学法人制度を創設し、文部科学大臣が指定する国立大学法人については、世界最高水準の教育研究活動が展開されるよう、高い次元の目標設定に基づき大学を運営 (国立大学法人法改正)
- ✓ 世界最高水準の教育力と研究力を備え、人材交流・共同研究のハブとなる卓越大学院 (仮称) を形成
- ✓ 優れた若手研究者が安定したポストにつきながら、独立した自由な研究環境の下で活躍できるようにするため、「卓越研究員」制度を創設

《国立大学を取り巻く環境の変化》

- ・グローバル化
- ・少子高齢化の進展
- ・新興国の台頭などによる競争激化

第2期中期目標期間

(平成22～27年度)

法人化の長所を生かした改革を本格化

改革加速期間

- ・グローバル化、
- ・イノベーション創出、
- ・人事・給与システムの弾力化 など

大学改革実行プラン

(平成24年6月)
社会の変革のエンジンとなる大学づくり
・大学の機能再構築
・大学ガバナンスの充実・強化

ミッションの再定義

国立大学改革プラン (平成25年11月)

自主的・自律的な改善・発展を促す仕組みの構築
強み・特色の重点化
グローバル化
イノベーション創出
人材養成機能の強化

《国立大学法人化の意義》

- ・自律的・自主的な環境の下での国立大学活性化
- ・優れた教育や特色ある研究に向けてより積極的な取組を推進
- ・より個性豊かな魅力ある国立大学を実現

第1期中期目標期間

(平成16～21年度)

新たな法人制度の「始動期」

国立大学法人
スタート

平成16年度

平成22年度

平成25年度

平成28年度

国立大学の今後の展望に基づく「経営改革」の推進

30
年度

挑戦する国立大学を支援する**予算**の要求や**仕組み**の構築

「**人事給与システム改革に係る運用指針**」策定

(業績評価徹底、年俸制、クローポ、テニユアトラック等)

国立大学に対する評価の見直し

- ・重点支援評価の精選と経営改革に係る共通指標の導入
- ・国立大学法人評価と重点支援評価の統合の検討
- ・学外の者による評価の促進

中教審答申

「**国立大学の改革方針**」策定

- ・国立大学の役割
- ・規模・配置
- ・改革の方向性

経営改革を推進する

法律等の制度改革

- ・一法人複数大学制度・外部理事の複数登用・外部資金獲得推進に係る改正

「**大学ガバナンスコード**」(国立大学の特性を踏まえた経営指針)

- ・経営と教学の機能分担
- ・経営人材キャリアパスの形成
(学長補佐、海外一流大学経験等)

31
年度

改革の
推進

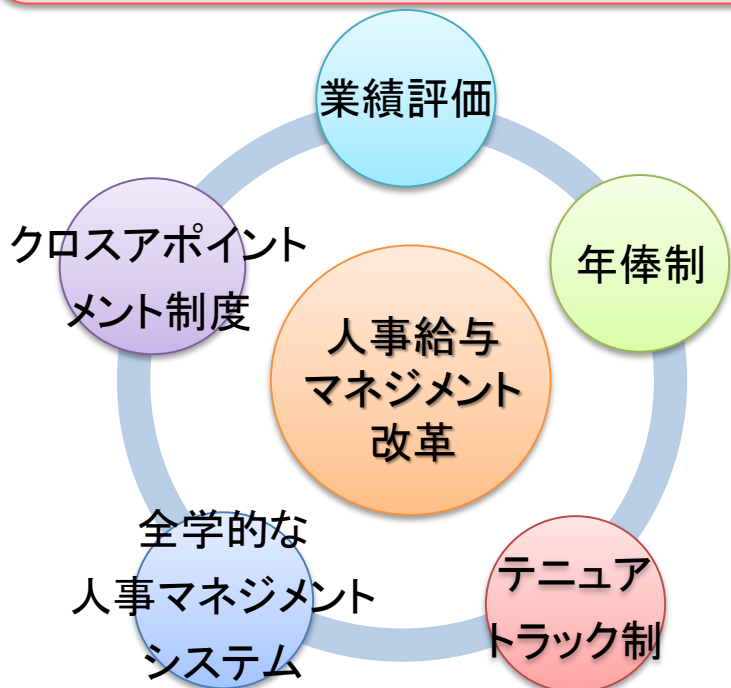
「国立大学については、18歳人口の減少を踏まえた定員規模の検討を行うとともに、大学院機能の重視、文理横断的な学士課程への見直しなどSociety5.0の実現を踏まえた人材育成を含め、上述のような役割を明確にし、その機能を伸長していく改革が求められる。

このため、国において、国立大学と議論を巡りつつ、学士課程教育、大学院教育等において、それぞれの大学の強み・特色や地域の事情等にも留意しつつ、どのような課程や分野で、どのような規模で役割を果たしていくのか、という点について一定の方向性を検討することが必要である。」

【2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)より抜粋】

国立大学法人等の人事給与マネジメント改革の推進

- 教員のモチベーションを向上させ、若手・女性・外国人等多様で優秀な人材の確保に資する人事給与制度の実現により、従前からの人事給与マネジメント改革を達成し、教育研究力の伸長を図る。
- 各法人が自律的に各取組をパッケージとして進める改革の進展を、運営費交付金に反映することで加速するほか、改革の丁寧な検証を行うことにより、より合理性・実効性ある改革の展開を図る。



改革の方向性

- 研究分野・職種・年齢層に応じた全学的で厳格な業績評価の実施と処遇への適正な反映
- 一定の役割を果たした現年俸制の仕組みを見直し、業績評価に基づく年俸制の全面導入を目指して段階的に拡大
- テニュアトラック制やクロスアポイントメント制度を活用した多様で優秀な人材の確保
- 全学戦略に基づく教員配置を可能とする、合理的・実効性ある全学的な人事マネジメントシステムの構築
- 人事給与マネジメント改革の取組・効果を検証・共有

改革促進支援

- 運営費交付金の在り方の見直しにより、各大学の人事給与マネジメント改革を促進

第3期

下半期（2019～2021年度）

第4期（2022年度～2027年度）

人事給与マネジメント改革

〔各大学において、各取組をパッケージとして、効果的・実効性ある改革を進める。〕

運営費
交付金へ
の反映

検証

中期計画に位置付け

毎年度評価、資源配分を実施